

## 2019年度 事業報告書より（抜粋）

### 【特別資料デジタル画像閲覧サービスの開始】

館所蔵の資料の中で、焼損や経年の劣化による傷みの激しいものや、閲覧頻度の高いものを撮影し、デジタルデータによる閲覧サービスを新たに開始した。原資料の保護と、資料公開における利便性の向上、研究促進を目的としたもので、初年度は芥川龍之介の「歯車」草稿ほか六点、太宰治の「お伽草紙」原稿、長塚節の「土」原稿を公開。これまで損傷が激しいために閲覧不可となっていた資料の調査研究が可能になった上に、通常の肉筆資料の特別閲覧とは異なり、予約不要で即日閲覧が可能になった。今後も順次対象資料を増やしてデジタルデータアーカイブの拡充を目指す。

### 【資料収集】

所蔵資料総点数	1,212,340点					
	特別資料	図書	雑誌	写真	視聴覚資料	寄託
本年度	5,797点	3,955冊	13,411冊	0枚	8点	2件
累計	99,067点	493,330冊	614,285冊	5,425枚	233点	68件10,686点

### 【閲覧等サービス】 [ ]内は前年度の数

閲覧	閲覧日数	230日[232日]	閲覧者数	1,502人[1,610人]
資料複写サービス	1,330件	27,218枚（うち学割は246件4,120枚）		[1,358件31,212枚（うち学割は221件5,327枚）]
資料写真サービス	381件	1,019枚[420件1,376枚]		
レファレンスサービス	564件	[580件]		
成田分館	開館日数	22日[24日]、展示来観者	18人[10人]、閲覧者	1人[1人]
HP 特別資料検索サービス	利用登録者	440人[256人]		

### 【展覧会】

#### ①春季展示「生誕110年太宰治—創作の舞台裏」

4月6日～6月22日（49日間、4,952人） 編集委員：安藤宏  
4月5日、内覧会を開催。図録（館編、春陽堂書店刊、B5判、カラー160ページ）製作。  
川端康成記念室＝「川端文学の青春」

#### ②夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅲ 森嶋外『舞姫』とその時代」

6月29日～9月14日（54日間、1,850名） 編集委員：紅野謙介、須田喜代次  
六草いちか氏講演会「鷗外のベルリン『舞姫』のBERLIN」開催 7月20日、来聴者105名  
中学や高校の先生方を対象とした関連セミナー『『教室』と『文学』をつなぐ』開催 7月13日（講師：紅野謙介・中島国彦、参加者26名）・8月10日（講師：須田喜代次、参加者46名）

#### ③秋季展示「歿後50年伊藤整展—チャタレイ裁判と『日本文壇史』展

9月21日～11月23日（43日間、1,128人） 編集委員：武藤康史

9月20日、内覧会を開催。図録（B5判、48ページ）製作。

川端康成記念室＝「川端文学の本」

#### ④冬季企画展「詩のありかに触れるささやかな試み」

11月30日～2020年2月22日（48日間、961人） 編集委員：栗原敦  
詩集（A5版、200ページ）製作。

#### ⑤全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」 『震災を書く』

2月29日～3月27日（11日間、150人）  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月5日～14日と28日は閉室

### 【講座・講演会】

#### ○文学館へ行こう！（文学館を知りたい方へ — 利用案内講座） （参加者 計82名）

4月20日、5月4日、9月28日 講師：中島国彦 1月18日 講師：紅野謙介

#### ○資料は語る 2019年度＜舞台裏から見る文学＞ （受講者 計208名）

- 4月20日 山崎一穎：鷗外晩年の憤り—賀古鶴所宛書簡を読む
- 5月18日 安藤宏：太宰治・創作の舞台裏—生誕110年展のみどころ
- 6月8日 松本徹：三島文学形成と〈死〉の影—東文彦宛書簡をめぐる
- 9月21日 武藤康史：笑いで戦う伊藤整—『伊藤整氏の生活と意見』
- 10月19日 今野寿美：葛藤にこそ光を—与謝野晶子の心の軌跡
- 11月16日 長島裕子：『吾輩は猫である』の頃—「時機が来てみたんだ」

#### ○声のライブラリー 自作朗読と座談会 （参加者 計210名）

第97回 5月11日 朗読：津野海太郎、平松洋子 司会：伊藤比呂美  
第98回 9月14日 朗読：三田誠広、佐伯一麦 司会：佐藤洋二郎  
第99回 11月9日 朗読：赤坂真理、三国美千子 司会：小池昌代  
第100回 2月8日 朗読：小池昌代、佐藤洋二郎、伊藤比呂美

#### ○第56回 夏の文学教室 「文学の現在—越境・往還することば」 （聴講者 計4,106人）

（読売新聞社後援、7月29日～8月3日、有楽町・よみうりホール）  
講師：楊逸、野谷文昭、島田雅彦、赤坂真理、鹿島茂、京極夏彦、中島京子、川本三郎、町田康、柴崎友香、古川日出男、辻原登、柴田元幸、伊藤比呂美、藤沢周、真藤順丈、柳美里、高橋源一郎

#### ○文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理（8月20日～24日） 参加者：23大学ほか39名

講師：安藤宏、池内輝雄、石川巧、紅野謙介、坂上弘、須田喜代次、十重田裕一、中島国彦、宮内淳子、宗像和重、山田俊治、和田博文、事務局職員

#### ○文学館職員研修講座（1月29日～31日） 参加：2館4名

### 【刊行物】

『太宰治 創作の舞台裏』2019年4月10日刊行 館編、春陽堂書店発行  
紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第15号 2020年3月20日刊行